

緊急救援 メコンデルタ水害

災害発生: 2000.8~豪雨によりメコン河が氾濫、大規模な洪水発生

救援期間: 2000.9.26~11.30
カンボジア・ブノンベンに事務所を構えるシャンティ国際ボランティア会(SVA)をカウンターパートとして支援。活動内容としては、SVAの救援活動を支援する、という形で、米などの食糧物資配布を中心に行った。また、現地に委員会からスタッフを派遣し、現地の状況のモニタリングも行った。

また、今回はメコン川の氾濫により、広域の水害が発生し、カンボジア以外にもベトナム南部の方でも被害が発生したため、ベトナムYMCAを通じてベトナム水害被災地の支援を行った。

支援基金総額: ¥564,356(8口)

■メコンデルタ救援委員会・会計報告■

【収入】		【支出】	
支援金(8口)	546,356	送金	500,420
		事務局運営費(支援金の15%以内)	63,936
			19,051 事務実費(郵送費・電話代・印刷費等)
			13,615 固定費(家賃・光熱費案分の19%)
			9,000 入件費(入件費案分の19%)
			22,270 災害救援金へ
計	546,356	計	546,356
残金			0

単位はいずれも円。

*事務局運営費のうち固定費・入件費については、同時期に救援活動を行ったベネズエラ・モザンビーク・モンゴル・カンボジア各委員会合同で、活動規模に応じて下記案分を配分します。

家賃案分(05ヶ月分)	78,750
光熱費案分(05ヶ月分)	12,000
入件費案分(1/3ヶ月分)	60,000
計	150,750

メコンデルタ水害・救援委員会NEWS<第5報>2000.11/18

11/13よりカンボジア入りしている鈴木隆太からレポートが入りましたので、ご紹介します(一部抜粋)。

●11/13 午後6時過ぎブノンベンに到着。 SVAの事務所に行き、所長の加藤さんからお話を伺う。
●11/14 ・ミーティングで、水害の救援活動状況の説明を受ける。 カンボジア赤十字・NGO・国家災害対策委員会・国連災害対策チーム・国際赤十字連合等が「Emergency Response Group」という協議会のようなものを設置していく、大きく4つのカテゴリーに分けられている(緊急救援・食糧・インフラ・健康/保健・水/衛生)。 SVAは食糧のカテゴリーに参加している。現在は緊急救援から次のステップへ移行する時期でモニターと再建の時期に入っていること。 ・現地視察(Kandal県Sway Chum村-SVAが米を配給済み) カンボジアでは村毎に寺院があり、コミュニティの中心になっている。その他に学校の校長・村長なども加わって村の運営にあたっている。 学校は11/13にオープン。診療所はあるが、医者2名が不定期に来る。薬が足らない状況。住民は作物がほとんどやられてしまったこと、明日の食糧もまだならない、また水害が起こればどうすればいいかと不安を訴えていた。
●11/15 ・現地視察(Kandal県Prek Ampil村-SVAが米・米の種を配給済み) 70%の人が米の作付けを終えたが、残り30%は米の種を換金している様子(非農家など)。学校は11/14にオープン。住民はその日暮らしで将来の見通しがないと訴えていた。 ・現地視察(Kandal県Prek Luong村-未配給) 最初の水害の後半の作付けを行ったが、2度目の水害で二重の被害を受けた。米は足らない状態。SVAに米の種の援助を希望している。住民は以前の状態に戻るのが困難で、野菜を町まで買いに行かねばならないと訴えていた。
●11/16 ・現地視察(Koh Oknhaentei-SVAに米の援助を依頼中) この村はメコン川のど真ん中に出来た中洲のよろづ小さな島で、119世帯が暮らしている。島が小さいので米は作っておらず、野菜・果物などで生計を立てているが、今回の水害で大きなダメージを受けた。すでに住民からのリクエスト書類が用意されていた。 被害状況と書類の確認をしたことをSVA事務所で報告・協議し、支援を決定した。

⑨鈴木隆太の帰国報告会が下記の通り東京で開催されます。東京方面の方は是非ご参加下さい。(神戸での報告会は未定)

●日時 : 11 / 24 (金) PM 7:00~8:30
※報告会後、交流会を予定しています。事前(又は当日受けに出欠をお知らせ下さい。

●場所 : SVA(社)シャンティ国際ボランティア会
東京都新宿区大京町31慈母会館1F (JR信濃町・千駄ヶ谷駅 徒歩5分)

●参加費 : ¥500
※会場設置の為、恐れ入りますが参加希望の方は事前にご連絡ください。

●お問い合わせ

SVA東京事務所 海外事業・企画調査課 長谷部
TEL: 03-5360-1233 FAX: 03-5360-1220
E-mail: basebe@sva.or.jp ホームページ: <http://www.ica.apc.org/sva>

■募金の振込先■

郵便振替 口座番号 00960-2-12443

加入者名 災害救援委員会

*通信欄に「ベトナム水害」「カンボジア水害」「メコンデルタ水害」のいずれかをお書き下さい。
なお、「メコンデルタ水害」と書かれた場合は、事務局へベトナム・カンボジアの支援を振り分けさせて頂きます。
*募金の15%は事務局運営費として使わせて頂きます。

メコンデルタ水害・救援委員会NEWS<第4報>2000.11/10

<名称変更のお知らせ>

さて、10月初旬からお伝えしていますカンボジアの水害に加えて、ベトナムの被害も明らかになって参りました。そこで、名称を「カンボジア水害・救援委員会」から「メコンデルタ水害・救援委員会」と変更したいと思います。今後、ベトナムへのカウンターパート探しも含め、支援を進めていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

<ベトナムの状況>

以前もお伝えいましたが、メコン川流域での被害は広がっており、カンボジアにとどまらず、ベトナムにも被害が出てきております。ベトナムにあるYMCAの情報を日本YMCA同盟を通じて頂きましたので、紹介させていただきます。

●419人が死亡、そのうち子供は239人
●物的被害: 815,566の家が洪水にあり、2,600の学校12,243の教室が損傷し、820,000人の生徒が学校に行けず、347の地元診療所も洪水にあった。
●被害総額は3兆7000億ベトナムドル、2億6050米ドルである。

現在、水位は下かり始めてきているが、深刻な物的、人的被害、洪水後の悲惨な状態が続くことは避けられないだろう。

我々は地方政府に、復旧支援作業について問い合わせ、被災者の受益者リストを作成した。11月9日に深刻な被害を受けた2つの居住区、タノブとプロイ(アンビン地方)行き、400世帯に、直接的、物的を行った。今までに、世界同盟から2600米ドル、全日本YMCAから3000ドル、栃木YMCAから30万円、受け取り、ベトナムYMCAは、ホーチミンシティである程度のお金と、大量のヌードル、衣服を集めた。ベトナムYMCA裁縫ワーキングショップも、被災者のため大量の衣服をつくり寄付した。

<カンボジアからのレポート>

現在カンボジアで神戸元気村のスタッフが活動しています。そのレポートが[神戸元気村のホームページ](#)に掲載されています。

<国連アピール発表>

自然災害からの防災、復旧体制の整備を目指す国連人道問題調整事務所(OCHA)のアジアユニット(アジア担当事務所)が28日までにインドシナ半島を流れるメコン川の洪水によるカンボジアとベトナムでの被害について、国際社会に復興支援を訴える国連アピールを公表した。

同ユニットのカレン・フェン・ミン災害対応地域アドバイザーらが参加した国連専門チームによる被害調査をもとに作成された。それによると、両国は記録的被害を出し、カンボジアでは今月2日までに200万人が被災し、住宅など約16万5千戸が浸水した上、死者が続出。ベトナムでは20日までに500万人以上が被災し、370人が亡くなり、農耕地も甚大な被害を受けた。すでに住民からのリクエスト書類が用意されていた。

被害状況と書類の確認をしたことをSVA事務所で報告・協議し、支援を決定した。

⑨鈴木隆太の帰国報告会が下記の通り東京で開催されます。東京方面の方は是非ご参加下さい。(神戸での報告会は未定)

●日時 : 11 / 24 (金) PM 7:00~8:30
※報告会後、交流会を予定しています。事前(又は当日受けに出欠をお知らせ下さい。

●場所 : SVA(社)シャンティ国際ボランティア会

東京都新宿区大京町31慈母会館1F (JR信濃町・千駄ヶ谷駅 徒歩5分)

●参加費 : ¥500

※会場設置の為、恐れ入りますが参加希望の方は事前にご連絡ください。

●お問い合わせ

SVA東京事務所 海外事業・企画調査課 長谷部

TEL: 03-5360-1233 FAX: 03-5360-1220

E-mail: basebe@sva.or.jp ホームページ: <http://www.ica.apc.org/sva>

このページのトップへ

カンボジア水害・救援委員会NEWS<第3報>2000.10/25

<カンボジアへ、スタッフ派遣決定>

10月始めよりネットワークを通じて募金を呼びかけておりましたが、今回のカンボジア水害に関するカウンターパートであるSVAから以下のようスタッフ派遣要請がありました。

『さて、ご存知通り、メコン川の増水によるカンボジア大水害において、当地のブノンベン事務所では、精力的な救援活動を行っております。しかし、通常業務に加えて緊急救援活動のため、マハボーラー不足が否めません。そこで、今回、神戸でこの活動に取り組まれ、かつ、海外における救援活動の実績もある貴会にスタッフを派遣頂きたく、ご高配のほど、よろしくお願ひします。』

上記のような依頼がありました。常任委員会ではなかったところ、今回の水害に対して募金がほとんど集まっていたため、98年のホンジュラスのハリケーン被害に対する支援の際に立ち上げた「NGO災害救援金」から50万円をSVAに拠出して、さらにカンボジアへスタッフを派遣することが承諾されました。

今回カンボジア現地に行くのは、鈴木隆太です。また、帰国後に報告会を予定しておりますので、またお知らせ致します。

<被災拡大・カンボジアからベトナムへ>

【ベトナム:死者は485人、500万人が被害】

●ベトナム政府によると、メコンデルタの何万人もの人たちが、急性の栄養失調になり、生きていくのがやっとという状態である。何千もの若いベトナムティアが、軍隊、警察、兵民、民間の犠牲者を手伝っている。(10/2 AFP)

●ベトナム中部では、降雨が30センチに達し、沿岸都市では、完全警戒体制をしく必要に迫られている。先月の洪水被害から、復興に向かっていきたところを、また何千もの家屋が裏われた地方もある。

ホーチミンシティの南西12地区が浸水している。新たな降雨と、高潮が近づいていることで、バンコクの東部と、ドンナイリ西部で、水位が上がっている。(10/25 AFP)

●死傷者: 419人が死亡、そのうち子供は239人

●物的被害: 815,566の家が洪水にあり、2,600の学校12,243の教室が損傷し、820,000人の生徒が学校に行けず、347の地元診療所も洪水にあった。

●被害総額は3兆7000億ベトナムドル、2億6050米ドルである。

現在、水位は下かり始めてきているが、深刻な物的、人的被害、洪水後の悲惨な状態が続くことは避けられないだろう。

我々は地方政府に、復旧支援作業について問い合わせ、被災者の受益者リストを作成した。11月9日に深刻な被害を受けた2つの居住区、タノブとプロイ(アンビン地方)行き、400世帯に、直接的、物的を行った。今までに、世界同盟から2600米ドル、全日本YMCAから3000ドル、栃木YMCAから30万円、受け取り、ベトナムYMCAは、ホーチミンシティである程度のお金と、大量のヌードル、衣服を集めた。ベトナムYMCA裁縫ワーキングショップも、被災者のため大量の衣服をつくり寄付した。

「人々は救援を必要としている。彼らは被災したのだ。」レインジャーは政府役人が寄付された食料や援助物資を自分たちのものにしていると痛烈に批判した。両国機関の代表はレインジャー等の講義を聞いた。

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(10/20 AFP)

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(10/20 AFP)

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(10/20 AFP)

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(10/20 AFP)

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(10/20 AFP)

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(10/20 AFP)

国連アピールは被災した50万のカンボジア人に食糧援助を行っている。洪水によって、300人以上が死亡し、300万人以上が被害を受けている。(1